

国際関係概論 14

林 光

2007年10月4日 木曜日

0 事務連絡

0.1 前期試験講評

- ・平均約 45 点で、ほぼ一様分布 (0 点 ~ 100 点)
- ・均衡の表記を間違える者続出
(わざわざ注つけたのに...ちゃんと読むこと！)
- ・論述問題への不慣れ (量不足、誤字等) が顕著

0.2 レポート

挽回の機会を与えるためレポートを課す。

内容：自分の答案の修正版を提出せよ
量：A4 二枚程度 (なるべく両面で)
期限：11 月 1 日 (これより早く提出してもよい)
宛先：授業時に林まで

- 注意 1：必ず元の答案を下に重ねて提出すること
注意 2：まとめて左上でホチキス止めすること
注意 3：何度も書き直しを求める予定
注意 4：前期試験問題のパスワードは授業教室番号
注意 5：他人の答案やネットの丸写しは厳禁！¹

1 制度の発生 1：覇権安定論

1.1 覇権安定論

「国際経済秩序の安定には覇権国の存在が不可欠」
例：19c の英，20c の米
「覇権国の衰退 国際経済秩序の不安定化」
20c 初の大恐慌期の混乱 英 × 能力，米 × 意思

¹友達同士相談するのは構わないが、それでも最終的には自力で考えてレポートをまとめること。違反者は厳しく処分する。

安定した国際経済秩序 = 国際公共財という想定
では公共財とは何か？

- ・非競合性²
 - ・非排除性³
- 市場を通じた供給がない (なぜか?)
仕方なく税金を集めて政府が供給
では国際社会 (= 無政府) では誰が供給?
by 覇権国!

2 制度の発生 2：レジーム論

2.1 レジーム

レジーム：国家間で成立している原理・原則，それらを規定する規則・規範の総体

例：ブレトンウッズ体制

いったん構築されると自律的な拘束力
(覇権国すら拘束することも)

覇権安定論の予測：覇権国の凋落 × レジーム
しかし現実には...：覇権国の凋落 レジーム

R. Keohane

「レジームがなぜ供給されるかだけでなく，なぜ需要されるかにも注目せよ」

レジームへの需要：

- ・取引費用の低減
- ・規範 & 原理の提示
- ・情報の提供

²人数にかかわらず全員が同時に同じ量を消費できる

³特定 (費用を払わない等) の者にその財の利用・消費を禁止させることが不可能

2.2 精緻化

繰り返し囚人のディレンマ

表 1: PD

	C	D
C	2,2	0,3
D	3,0	1,1

ゲームが続く可能性 協力が生まれやすい
しっぺ返し (Tit for Tat) 戦略の有効性
by R. Axelrod

2.3 批判

囚人のディレンマより男女の争いの方が相応しい？

表 2: Battle of the Sexes

	A	B
A	2,1	0,0
B	0,0	1,2

国家は絶対利得ではなく相対利得を追求？